

[長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。]

# 公共施設の将来のあり方を考える市民対話《日吉・茂木・南地区》

## ❀ 第1回 開催報告 ❀

ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。

**日時** 平成30年12月14日(金) 19:00~20:30

**場所** 茂木地区公民館

**参加者** 地域の皆さん 25人



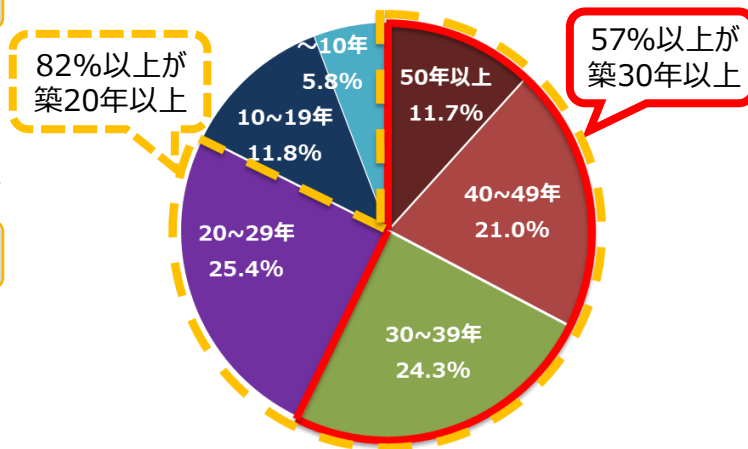
人口減少や少子高齢化が進む中であっても、暮らしやすいまちであり続けるために、日吉・茂木・南地区にある公共施設はこれからどうあったら良いのか・・・将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

### 1 いま起きている“変化”と状況

公共施設が古くなってきています

- ・市の公共施設（建物）の半分以上が建築後30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・今後、修理や建替えの時期を一齐に迎えます。

＜施設の築年数と施設の量（床面積）の割合＞



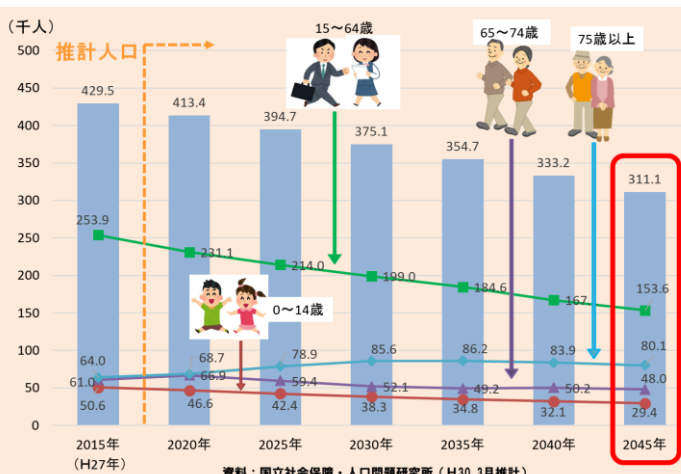
人口減少・少子高齢化が進んでいます

- ・長崎市の人口は、2045年には約31万人にまで減少すると予測され、それに伴い施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- ・「働く世代」の人口が大きく減少して**税収が減少することが予想**されます。
- ・今後も高齢化が進み、**福祉や医療にあてる費用が増えることが予想**されます。
- ・このため、**公共施設の修理や建替えにあてる費用は限られてしまいます。**

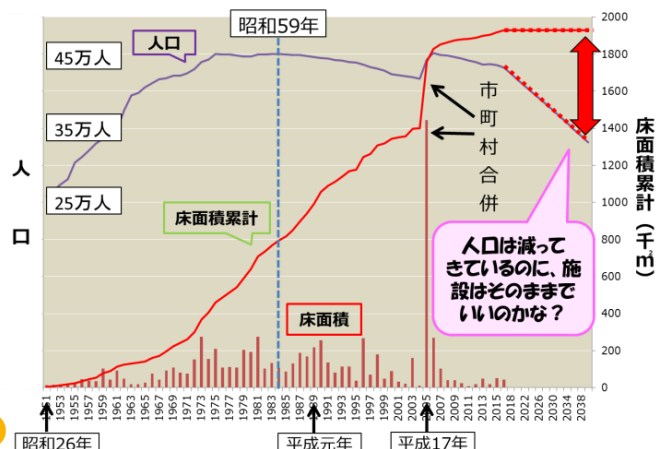
人口は減少しているのに、施設は多いまま

- ・長崎市の人口（紫の線）は、昭和59年をピークに減少していますが、**施設の量（床面積、赤の線）は増え続けてきました。**
- ・**今ある施設を全て持ち続けることが必要でしょうか？**

＜人口の将来予想＞



＜施設の床面積と人口の移り変わり＞



## 2 時代の変化に対応できる公共施設の見直し

長崎市から、「いま起きている“変化”と状況」として、なぜ公共施設のあり方を見直す必要があるのかお話ししました。

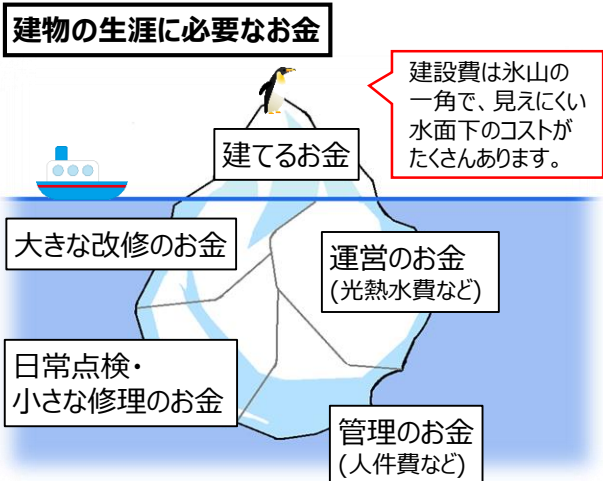
### ところで…

建物の生涯では、どんなお金がかかるかご存知ですか？

建物にかかるお金は、初めに建物を建てるお金だけではありません。建てた後も、建物の管理・運営のための光熱水費や人件費、安全のための日常点検・小さな修理のお金が必要になります。

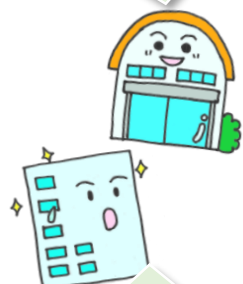
また、建物の老朽化に伴い、定期的に大きな改修のお金もかかります。一般的に、建物を建てるお金の4～5倍のお金が、建てた後にかかるといわれています。

建物のあり方を考えるときには、**建物の生涯にかかるお金全体を考える必要があります。**



### 公共施設を取り巻く時代の変化

長崎市の人口は、約30年後、約31万人にまで減少すると予測されているんだ。



人口減少

公共施設の  
利用者の減少

なのに  
公共施設の量は  
そのまま

人は減っていくのに、施設の量はそのままだと、使われない施設が増えてしまうね。

少子高齢化

医療・介護など福祉  
にあてる予算の増大

なのに  
古くなった公共施設の  
修理に費用がかかる

働く世代の人口が大きく減っていき、税金(市の収入)が減っていくよ。



どうしたらいいのだろう？

市の施設の半分以上が、築30年以上で老朽化しているよ。これからますます修理の費用がかかるよ。

今後も安心して快適に公共施設を利用し、暮らしやすいまちであり続けるためには、

**今、できること** に取り組むことが大切です。

### グループワーク

「**地区内にある施設の課題や問題点等**」について考えよう

○日吉・茂木・南地区の将来を考えるうえで、地区内にある施設の課題や問題点等は何ですか。

○その理由は何ですか。

思い浮かんだ施設を、書き出してもらい、それぞれの施設について、班で話し合いました。

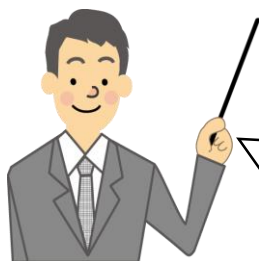


### 3 公共施設の上手な見直し方

長崎市から、どのように公共施設を見直していくかについて、お話ししました。

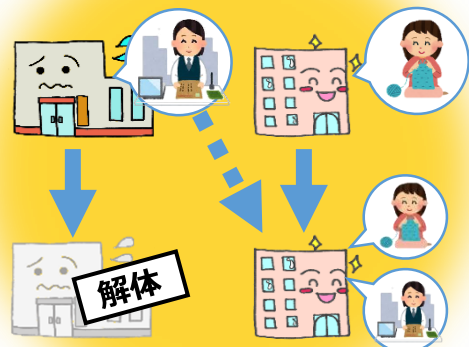
まず大切なことは…

**施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。**



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を見直すということです。仮に施設が減っても、そこで行われていた生活に必要なサービスを無くすことではありません。

＜工夫した使い方の例＞



建物は減っても… サービスは残る

#### 公共施設を見直す時の視点

公共施設の使い方を見直す時には、次の7つの視点で考えていきます。

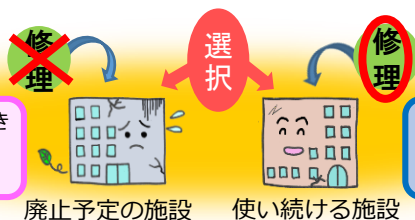
<p>建築年数や修理の状況</p>	<p>地震に強い建物か</p>	<p>よく利用されているか</p>	<p>使っていない部屋はないか</p>	<p>同じような使われかたをしている建物がないか</p>	<p>修理などにお金が掛かりすぎていないか</p>	<p>バリアフリーに対応しているか</p>
-------------------	-----------------	-------------------	---------------------	------------------------------	---------------------------	-----------------------

#### 見直しの手法

見直しには、大きく3つの手法があります。

**手法1** 使い続ける施設と将来廃止予定の施設を分けて、使い続ける期間に合わせた適切な修理をする

廃止予定なのに大きな修理をするのは、もったいないね！



安全で安心して利用できる施設管理に努めます

**手法2** ゆずりあいと工夫

午前 午後

- いっしょに使う ●
- 時間をやりくり ●
- 片づける ●

工夫することで建物が減っても活動は続けられ新たな交流もうまれます。

**手法3** 新たな財源を確保する

- ◇使っていない土地や建物を売ったり、貸したりする(遊休資産の活用)
- ◇民間と連携・協力し、より良い行政サービスを効率的に提供する



# ★グループワークで出された主な意見

グループワークで話し合っていたいただいた内容について、班ごとに発表していただきました。

- ・小中学校に空き教室があるようなので、何かに活用することはできないだろうか。
- ・茂木港ターミナルについては、新鮮市の営業が昼の2時で終わるので、できれば地域のコミュニティで営業後に活用したい。

1班



- ・学校については、統廃合の対象になっているところもあるので、いずれ学校の有効活用が問題になるのではないかと心配です。学校はコミュニティの中心にある施設なので、地域のために大切に考えていかないといけない。
- ・キリスト教関連の世界遺産登録ということで、天草の苓北町のターミナルは新しく建替えられている。茂木のターミナルは、面積が狭いし新鮮市があるという感じだけだ。夕方最後の便の頃には従業員さんもいらっしやらない。航路の窓口として、新たな施設として建替えた方がよいのではないかと心配です。

2班

- ・茂木地区の建物は学校を始め、建ててから40年くらい経つ老朽化している施設ばかりなので、施設の安全性が課題としてあげられるのではないかと心配です。
- ・市営住宅はエレベーターがない。バリアフリー化は必要なのではないかと心配です。
- ・茂木地区は高齢化率が高いので、10年後の状況を考えれば、もっと高齢者が暮らしやすいまちになるよう、集まりやすい高齢者向けの施設が点々とあるといい。
- ・わかな荘はもっと活用してもらえるように宣伝したらどうか。

3班



- ・今日の市民対話について、市がどうしたいのかわからなかった。
- ・公共施設はどれも必要な施設で、要らないと思ったことはない。
- ・人口が減ると言われたが、そうならないよう、茂木を活性化しよう地域で頑張っているところであり、施設をなくすのは逆行していると思う。

4班

## 【講評】（アドバイザー：一般財団法人 建築保全センター 池澤 龍三氏）

- 施設の見直しというのは、ハコものだけではなくて、名称の変更を含めて、中身をどういうふうな形にしていくと、人が来てくれるのかなどをしっかりと考えて、ハードとソフトを一緒に考えていく必要がありますし、そのような意見が出されたことは素晴らしいと思いました。
- 公共施設は利用者の視点で話をすることが非常に大切です。また、公共施設の維持管理は、当然ですが皆さんの税金で賄われています。納税者の視点で、公共施設をどう持続可能なものにしていくか、ということが大事だと思います。



## 次回の対話では…

長崎市から **公共施設の基本的な配置の考え方** をお示ししたうえで、その考え方に対して、地域にお住まいだからこその実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただきたいと思います。

**第2回 日時：平成31年1月18日（金） 19：00～20：30**  
**場所：茂木地区公民館 講堂**

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）